

### 9月議会報告



質問する砂田市議

砂田市議 私は8月2

9日に東京で「家族で治そう 認知症」という竹内孝仁国際医療福祉大学大学院教授の講座を受講してきた。

認知症は「脳の病気」だからもう治らないという単純なものではなく、認知症の症状や行動は介護ケアで症状を改善させることができる。と、症状が取れば認知症は治ったと言えると学んだ。

### 市独自の経過措置で 実害なし

### 保育料の算定ミス

砂田市議 子ども・子育て支援新制度による保育料の算定が所得税額から住民税所得割に変更となった。これに伴って全国的には算定ミスが相次ぎ、最大月1万5600円も高く徴収していた例が報道されているが、小矢部市は大丈夫か。

民生部次長 小矢部市でもシステムの不備で4世帯、6人分の保育料が本来のものより高く計算された。しかし、本市独自に従前の保育料より高額にならないようにする経過措置を設けていたため実害はなかった。

(砂田市議は県内でも全国でも小矢部市のような良い対応を

とったところは少なかつたと高く評価した。)

### 保育料減免制度 「もう少し時間を」

砂田市議 3月議会で、失業・倒産などで収入激減の場合の保育料減免制度について、今後研究したいとの答弁だったが、どうなったか。

民生部次長 失業・倒産による減免制度は県内では高岡市、氷見市、南砺市が設けている。3市の例も参考に、もう少し時間をいただきたい。

### 少人数学級の実現を

砂田市議 安倍政権になってから、全国的には小学2年生

以降の35人学級はストップさせられたままだ。段階的に全小中学年を実施すれば少ない予算で可能だ。例えば2016年度から始めれば初年度は16億円、完成年度、2023年度には56億円です。その財源は、軍事費削減ヘリSH60K17機で1032億円、無人偵察機グローバルホーク3機で367億円、イージス艦1隻1675億円などをやめて教育費に回せば可能だ。

### 多人数学級支援講師 対象学年拡大を

砂田市議 市は小学2年生まで30人を超えるクラスには、多人数学級支援講師を独自で配置しているが、対象学年を3年、4年生へと引き上げてほしい。来年3年生まで拡大すれば、市の財政支出はどれだけか。

### 日光教育長

少人数学級の実現に向けて、国・県に対し強く要望してまい



日光教育長 今年度は石動小学校に2名、大谷小学校に2名の合計4名の多人数学級支援講師を配置している。多人数学級の配置を拡大した場合の市の財政支出は、配置する講師1人当たり、年間で130万円程度だ。

## 竹内理論から学ぶ 認知症は治せる

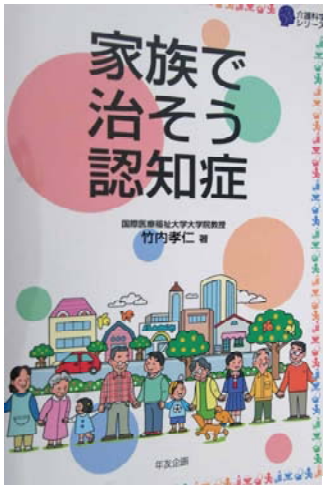
### 水分補給で体調を整える それに食事、排便、運動

竹内教授は水分をとること、認知症を治せると主張している。体調を整え体が元気で活性化すれば認知症の症状を改善できるという。体調を整えるには、水分と食事、排便つまりおむつをしないでトイレを使うよ

うにすること、そして運動だ。それにくわえて友人、仲間との社会的交流をすすめることだそう

市民部長 今年6月時点の要介護認定者1852人の内、何らかの認知症がある高齢者は1366人。このうち介護保険施設入所者は451人で約33%。

認知症が治れば 本人や家族の喜びに 広く情報を収集して 考えてみたい



竹内氏の著書「家族で治そう認知症」、年友企画・刊

竹内教授が提唱している「認知症あんしん生活実践塾」は認知症の家族と事業者が10数名参加する6カ月の講座で、最初にこうした理論を学んだ上で、月1回の個別事例検討と宿題で認知症の改善を図るもの

市内で認知症の方はどれほどおられるか。市で認知症の方を育てることが重要だ。竹内教授の「認知症あんしん生活実践塾」は、本人や家族の喜びにつながる。市としてもいろいろ取り組んでいるが、議員から紹介された「認知症あんしん生活実践塾」の活動についても広く情報を収集して考えてみたい。

## 軍事費削って、高齢者介護に税金を

### 介護職員の処遇改善と教育で 介護職場の改善を

砂田市議 このような先進的な理論と実践に学び、市内の高齢者介護事業所の水準を高め、高齢者が元気で長生きできるようにすれば、高齢化社会を乗り切ることができる。そうするためにも介護職員の処遇改善と教育で介護職場の改善をはかることが重要だ。これを介護報酬だけでなく、おとなら、介護保険料の値上げにつながる。そうではなく、必要な財源は、軍事費を削って生みだすべきだ。海外で戦争することに私たちの税金を使うのではなく、高齢者介護や子育て、教育に回すべきだ。

### 広島市平和記念式典に中学生参加



今年も広島市平和祈念式典に市内4中学から生徒8名が参加しました。市が原爆犠牲者の冥福、核兵器廃絶を願って、8月5日から7日までの日程で派遣するもので、8月5日朝、石動駅前出発式が行われました。小矢部平和委員会は広島に派遣される生徒を激励し、激励金を手渡しました。